

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	child hands 豊川(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【多機能型】多機能なので、異年齢との交流が毎日ある。	放デイが始まる午後からは一緒に部屋で過ごせる環境を整えている。異年齢の児童を誘って協同遊びが出来るよう職員が声掛けをしている。	一人遊びや小集団が中心な自発の児童に対し、積極的に声掛けをして、協同遊びが出来るよう提案していく。
2	【課題】保護者の困りごとを軽減できるような支援計画を立て、個別課題を通して児童の成長を促す。	放デイ同様「読む・聴く」力を育てる為に「お話し時間」を設け、様々な方法で五感に響く支援を行っている。毎日、パネルシアター・パペット・聴くトレCDなどを取り入れている。	積極的に職員が勉強、講習などを行い、支援の幅を広げる。地域の「親子会」「LD父母の会」など今後も参加する予定。
3	【家庭連携】施設での成功体験は必ず保護者に伝え、家庭でも同じ方法でアプローチし児童の困りごとを解決できるように努めている。□	好ましいこと、好ましくないことなどを示す絵カードは幼児が認知しやすいように、施設で使っているものと同じイラストのものを保護者にも渡し、施設、家庭、保育園など全ての環境で共通したものを扱うようにしている。	施設に来所し現場を見学してもらい、困りごとの解決方法を具体的に示す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【家庭連携】保護者会が開かれていない。	本年度6月をメドに開催できるよう準備している。	今後は年間スケジュールなどを報告し、保護者が前もって予定を立てやすいように工夫する。
2	【地域交流】地域の交流が出来ていない。	外部との交流を図るよう務める。	地域の団体に連絡をとり、GW,長期休暇などに子ども達と交流を図れる環境を整える。今年度GWは地域避難場所になっている中条神社の清掃(氏子立ち合い)を行う予定。
3			